

# 名都借の木



2026年1月10日発行  
発行者:流山市立木の図書館  
(指定管理者:株式会社すばる)  
住所:流山市名都借313-1  
Tel: 04-7145-8000



## 2026年 丙午 あけましておめでとうございます

丙は陽気があふれるさまを、午は陰気が陽気に逆らって出てくるさまを表し、古代中国の占いでは、丙午の年はものごとが大きく動く、とされていたようです。

## 来し方行く末を思う

いまから1100年前、平安時代の延長3年12月14日(926年1月1日)、再び風土記を勸進(提出)するように、との太政官符が出されました。

風土記はもともと奈良時代の和銅6年(713年)に、土地の名前や産物、古老の言い伝えなどを報告せよ、という官命によって編纂されました。

平安時代に再び編纂せよとの指示が出された理由ははっきりしませんが、恐らく元の風土記が散逸したか、古くなってしまったためと考えられています。

奈良時代に編纂された風土記で残っているものはすべて写本で5つの国についてのみ。流山が含まれるはずの下総国風土記は残されていません。



『續日本紀』(1657年編, 国文学研究資料館所蔵), 巻第六和銅6年5月甲子の風土記編纂を指示している箇所, 出典: 国書データベース

木の図書館が開館して14年になりますが、そのあいだに風景や環境がずいぶん変わりました。みなさんのまわりでも、心当たりがあるのではないのでしょうか。

図書館には流山の過去の姿を記録している名所案内や博物館の展示図録、流山の歴史や民俗を記した「流山市史」や「ふるさと流山のあゆみ」などを所蔵しています。思い出を振り返るおともどうぞ。(郷土資料は貸し出しが出来ないため、館内でご覧ください)



流山の歴史を記録した郷土資料



激動の時代を生きた人々の記録



福沢諭吉は明治という新しい時代の生き方を啓蒙するために「学問のすすめ」を著しました。この著作は一編ずつ刊行され、最後の第十七編が刊行されたのが今から150年前の1876年です。

同じ年にはグラハム・ベルが電話を発明しています。また、これに先立って大西洋横断電信ケーブルや長崎・ウラジオストック間の電信ケーブルが開通し、地球を一周する電信利用が可能となりました。電気通信で世界中がつながり始める、いわば現代のインターネットの発達のような通信革命が始まりつつありました。

時を同じくして、1876年には札幌農学校が開講し、明治の日本を担う人材が育っていきます。

国内外で大きく時代が動いた150年前と同じように、現代もまた時代が大きく動いています。過去を見ることで、未来へ進む糧を得ることもあるでしょう。そのときには図書館がみなさんのお手伝いをいたします。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

# 新しい年に新しい気分で読みたい本



青山 美智子／著  
『猫のお告げは樹の下で』  
(宝島社)

タラヨウの葉っぱに書かれたハチワレ猫「ミクジ」のお告げの言葉に、悩める人たちの世界が変わっていく…。

お告げの意味が分かった時、こころにポワンとあかりが灯るような一冊。忘れてしまっていた大切なものに気づかされる、7つの物語。

宮司さんの素敵な言葉に元気もらえます。



この本もおすすめてです！



中村 颯希／著  
『神様の定食屋 1』  
(双葉社)



山崎 圭一／著  
『一度読んだら絶対に忘れない世界史の教科書』  
(SBクリエイティブ)



他にこんな本もあります！



恋人に裏切られ、仕事も居場所も失ったエミリが、疎遠だった祖父の元に身を寄せる物語。祖父の手料理や、周囲の人々との交流を通して、エミリは傷ついた心を癒し再生していきます。

森沢 明夫／著  
『エミリの小さな包丁』(KADOKAWA)



ある家族の暮らしの中心である「こたつ」でのできごとを垣間見る絵本。昭和の懐かしい光景で、幼かったころの思い出が蘇ります。頭上からの定点観測で描いた独特のスタイル。

麻生 知子／作  
『こたつ』(福音館書店)

## 木の図書館イベント情報

毎回、ご好評いただいております「ゲームの日」。次回開催は2/1(日)です！トランプやUNOはもちろん、バランスゲームや水平思考ゲームなどをご用意。小さなお子様から大人の方まで楽しんでいただけるよう、豊富なラインナップでお待ちしております。お一人でのご参加も大歓迎です。

私たちと一緒にゲームで盛り上がりましょう！

今年度のゲームの日はこちらが最後となります！。

2/14(土)には教養講座「ストーンアート おひなさまを描く」の開催がございます。

受付等の詳細は、広報ながれやまや、館内ポスター、木の図書館HPなどで

お知らせいたします。みなさまのご参加、お待ちしております。





# 子どもの木



## 1月・2月のイベント情報

【1月】第14回 紙飛行機競技会

【2月】ゲームの日

シールラリー



を予定しています。

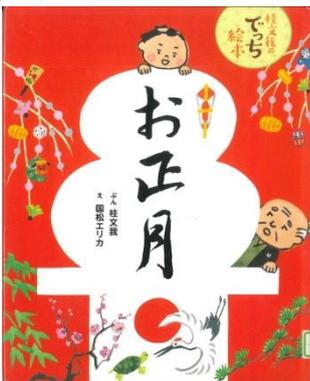


くわしくは、木の図書館ホームページや館内ポスターなどでご確認ください。



### 落語

今回のテーマは【落語】。  
今年1年、みなさんがたくさん笑える年になりますように♪



桂文我のでっち絵本  
お正月

桂文我／文 国松エリカ／絵  
(BL出版)  
お正月、縁起を担ぐだんなさんと  
でっちのさだきちのやりとりが  
おもしろい1冊。



落語絵本  
三方一両損

川端誠／作 (ロクリン社)  
吉五郎の落とし物を金太郎が  
届けに行ったけれど、その内  
の金三両は？大岡越前はどうか  
さばくのか、ぜひ読んでみて！



古典落語「夢金」より  
古典と新作らくご絵本 夢金

立川談春／文 寺門孝之／絵  
ばばけんいち／編 (あかね書房)  
本格的古典落語の『夢金』が絵本  
の形に。くまこうが見た夢を言葉  
と絵の両方でお楽しみください。



### これ、知っている？ ひっちはいくかい【筆致俳句会】

児童コーナー入口前（右側）に「筆致俳句会」の  
応募用紙があるのは知っていますか？

みんなが詠んだ俳句は「木のさんぽみち」にはって  
います。

良い句ができた！ちょっと書いてみようかな？

そんな時には、ぜひ応募用紙に書いて応募箱へ！！





# これからの木の図書館

連絡先  
木の図書館  
電話:04-7145-8000

## 開館日についてのお知らせ

流山市立図書館では、1月から3月のあいだに図書館の整備などで、不定期のお休みをいただくことがあります。開館日はお配りしている最新のカレンダーや、ホームページをご覧ください。



## 郷土へのいざない vol. 46 ～旧水戸街道散歩 その11

柏市中新宿にある「浄土宗 行念寺」をさらに北に向かいます。

流山市向小金の「香取神社」があります。創建年代は不詳ですが、この神社を兼務社として管理している諏訪神社(流山)のホームページによれば、1969年の社殿改築の際、旧社殿の棟札に元禄の記載があったとのこと。元禄とは1688年から1704年までの期間で、江戸幕府の将軍・徳川綱吉の時代を言います。



香取神社の境内

また、神社の入り口には「一里塚の碑」が建てられています。香取神社には一里塚があり榎(えのき)が植えられていたことが書かれており、小林一茶の句が刻まれています。

“下陰を さがしてよぶや 親の馬”

向小金は、江戸時代に下総地域全体に広がっていた小金牧のうち、上野牧の南端(JR 柏駅～南柏駅周辺)と、中野牧の北端(JR 北小金駅周辺)にはさまれたあたりに位置しています。



一里塚の碑

香取神社の境内には庚申塔や不動明王があります。向小金新田開拓の人々は、とても苦勞されて開拓地には神社のみで寺がないそうです。



香取神社の庚申塔